

# 令和3年9月定例会 たけはら由里子の一般質問

## 現場を見ずに判断した 補助金削減には是正措置が必要！

マッサージ券の交付率向上に関する施策について質疑を行いました。今年4月より、65歳以上の高齢者と50歳以上の身体障害者の方々に対して配布されてきたマッサージ券が、1人10枚が5枚に削減されました。

そのため施術を控えた方が増加し、それに連動した大幅な収入減に苦しむ施術事業者の声を聞きました。新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴う打撃を考慮し、**交付率や利用率の向上**のための提案と、生活困窮者への支援メニューを要望しました。

執行部から、「長崎県による事業者支援と歩調をあわせて、さらなる改善に向けて調査研究したい」との前向きな答弁をいただいておりますが、他の事業者等への要望を続けます。

たけはら由里子は、今の現状は壱岐市第3次総合計画が掲げる「**誰一人取り残さない**。協働のまちづくり」の基本理念に反している状況であることを引き続き強く指摘して参ります。

### ※事業者の方へ：

市の**事業継続支援金**、国の**月次支援金**などの募集が行われています。詳細は、市や商工会などにお問い合わせ下さい。たけはら由里子も可能な限りご相談に応じます。

## 声なき声に寄り添うための 広報・広聴について

特に社会的弱者と言われる障害者・高齢者・女性や子どもの声が市政に反映されていないように感じます。

「地域ごとの市政懇談会・市政報告会」といった**タウンミーティング**が、ここ10年ほど開催されていないことに一因があると考え、その**再開と定期的な開催**を求める質疑を行いました。

執行部からは「ホームページを活用している」「パブリックコメント等の他の手法も実施している」という回答がありましたが、たけはら由里子は「パブリックコメントが行われていること自体を知らない市民の方が多い」等の現状について、改めて指摘をしております。

情報アクセシビリティの向上も要望しています。

## たけはら由里子からひとこと

人口が減少する中、インフラ整備等で市の財政は厳しいのが現状です。限られた財源の中で市政運営を余儀なくせざるを得ない状況下で、声なき声に寄り添い自主自立・自学自習の機運を高めながら、更により良く、住みやすい壱岐市をめざして、政策提言をしていきます。どうぞ皆様のお声をお聞かせください。



## 壱岐市議会議員・たけはら由里子後援会

### 住所

〒811-5133 長崎県壱岐市郷ノ浦町本村触637  
(旧高岡司法書士事務所)

電話 0920-40-0400

メール yurikotakehara5@gmail.com  
(武原由里子本人が読みます)

ホームページ <https://takeharayuriko.com/>



QRコードを読み込んで、  
公式ホームページをご覧ください♪

